

# 目次

---

大会長あいさつ	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会会長 藤田 孝太郎	1
歓迎のことば	弟子屈町長 徳永 哲雄	2
大会次第		3
大会役員		4
後援団体		4
令和6年度北海道善行賞受賞者名簿		5
令和6年度日本身体障害者福祉連合会会長表彰受賞者名簿		5
令和6年度北海道身体障害者福祉協会会長表彰受賞者名簿		6
講演		9
<全体会議>		
第71回紋別大会 要望事項処理報告		10
第72回弟子屈大会提出議案		13
大会宣言 (案)		17
大会決議 (案)		18
<第72回弟子屈大会 関係資料>		
実行委員会名簿		19
第72回弟子屈大会参加団体一覧		20
全道身体障害者福祉大会年次開催地一覧表		21
会場案内図		22



一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会  
会長 藤田 孝太郎

第72回全道身体障害者福祉大会弟子屈大会の開催にあたり一言ごあいさつを申し上げます。

全道各地から数多くの皆さまにお集まりいただき、阿寒摩周国立公園内に位置し、摩周湖や川湯温泉など豊かな自然と観光資源に恵まれたここ弟子屈町において、第72回全道身体障害者福祉大会を開催することができました。

大会の開催にあたりましては、弟子屈町及び弟子屈町社会福祉協議会の皆さまをはじめ、地元、釧路地区身体障害者福祉協会の皆さまには大変なご尽力をいただきましたことを、心から感謝を申し上げます。

また、永年にわたり地域社会で、ご自身がその障がい克服され、懸命に努力されましたこと並びに障がい福祉活動、援護活動などが評価され、本日、表彰される皆さま方には心からお祝いと感謝を申し上げます。これからもご健康に留意され、それぞれの地域で、より一層ご活躍されますことをご祈念申し上げます。

今年は、元旦に能登半島地震が発生し、現在でもまだ全面復旧になっていない状況にあります。被害にあわれた被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに想定外の事態に対して、迅速に対応・対処できるシステムの構築が急務であると誰もが改めて、認識することとなりました。

さて、本年4月1日から改正障害者差別解消法が施行されました。これまで努力義務とされていた民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されました。今後、本法律の実効性を高めるためには、地域において心のバリアフリーの理解を深め、普及していくことが、以前にも増してますます重要となっています。

北海道身体障害者福祉協会では、こうした法律の普及啓発を行うとともに様々な補助事業や委託事業等を通して、加盟団体の皆さまと組織強化を図りながら、北身協の活動にご支援いただいている関係団体、企業の皆さまと一緒に、北海道に根ざした心のバリアフリーを広げ、障がい者差別のない誰もが住みやすい地域社会をめざして、一層努力をしてみたいと考えております。

結びに、本大会にご参加いただきました皆さまのご健勝と今後ますますのご発展をご祈念申し上げますとともに、大会の開催にご尽力いただきました皆さまにお礼を申し上げごあいさつといたします。



## 歓迎の言葉 ～ようこそ弟子屈町へ～ 弟子屈町長 徳永 哲雄

第72回全道身体障害者福祉大会が、ここ弟子屈町で開催されますことをお慶び申し上げますとともに、全道各地からお集りの会員の皆様並びにご来賓の皆様を心から歓迎申し上げます。

本大会は、障がいのある方々の生活の質の向上、社会参加の促進、自立厚生など数々の成果を挙げ、北海道における障がい福祉の向上に大きく寄与されているところであり、近年、いわゆるコロナ禍の影響を受けながらも、連綿とその意義を受け継いでこられたことに、深く敬意を表する次第でございます。

近年の身体障がい者に関わる社会情勢として、医療の発展に伴い、障がいとなる原因の予防や改善などが進んだことから、その数は減少しているものの、全体の高齢化が進んでいると伺っております。このような中で、障がい者を取り巻く状況は、障がい者への虐待と差別をなくすという社会全体の動きが、行政や民間企業にもよりきめ細かく取り組む姿勢が求められるようになり、また、均一で平等な教育機会の提供を学校や家庭においてどのように取り組み支援していくべきかが問われ、さらに、障がい者の保護者の高齢化によるいわゆる“親なき後”の障がい者の自立や暮らしをどう支援していくかなどが課題となっております。

本町におきましては、今年度より新たな「弟子屈町障がい者基本計画」の計画年度がスタートしたところでございます。基本理念として『子ども親も若者も、だれもが安心して暮らし、社会に参加しやすい支えあいのまちづくり』を掲げ、“支えあいのまちづくり”すなわち、障がいのある子どもたちが夢をもって健やかに成長し、安心して社会で暮らしていけるよう、子どもたちのライフステージにおける切れ目ない支援と教育環境の充実、そして、その家族や支援者、関係機関等への支援が持続的に行える支援体制・連携体制の充実を目指し、さらに、これから社会に参画する子供や若者も、すでに社会に参画している障がいのある人も、誰もが安心して社会に関わり続けられるまちづくり、地域づくりを目指すために就労支援をはじめ、障がいへの理解を深める機会づくりを充実させるなど、障がいのある人の自立心や自尊心の育みに向けた取り組みを推進しております。

さて、皆様をお迎えする、弟子屈町は、東北海道の中心部に位置し、透明度において世界有数の摩周湖や釧路川の源流である屈斜路湖など、道東有数の景勝地であり、また摩周、川湯、屈斜路、和琴、仁伏など温泉地としても知られるところでございます。本日、弟子屈町での滞在は短い時間であると存じますが、折角の機会でございますので、美しい自然に接していただければ幸いです。

結びに、大会の成功と参加された皆様の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げますとともに、開催にあたりご尽力、ご支援いただきました皆様に、心から感謝と御礼を申し上げ、歓迎の言葉といたします。

# 大会次第

## 式典及び表彰

9 : 3 0

開会のことば	副大会長（北海道身体障害者福祉協会副会長）	田 中 利 和
1 国歌斉唱		
2 黙 禱		
3 主催者あいさつ	大会長（北海道身体障害者福祉協会会長）	藤 田 孝太郎
	実行委員長（釧路地区身体障害者福祉協会）	石 田 正 義
4 歓迎のことば	弟子屈町長（名誉大会長）	徳 永 哲 雄
5 表 彰	北海道善行賞	
	日本身体障害者団体連合会会長表彰	
	北海道身体障害者福祉協会会長表彰	
6 祝 辞	北海道知事	鈴木直道
	北海道議会議長	富原亮
	弟子屈町議会議長	近江屋茂
7 来賓紹介	北海道議會議員	桐木茂雄
8 祝電披露		
9 謝 辞	受賞者代表	美唄市 北村節子
閉 式		

## 講 演

1 0 : 4 5

◆演 題 「障害と就労」実際働いてみて思う事

◆講 師 医療法人社団 田中医院 デイケアセンターさくら

理学療法士 村上奈緒氏

## 全体会議

1 1 : 3 0

1 開 会		
2 議長団選出・あいさつ		
3 第71回大会処理報告	北海道身体障害者福祉協会事務局長	佐藤裕人
4 審 議(要望事項)		
5 大会宣言提案・採択	北海道身体障害者福祉協会理事	今 順 子
6 決議提案・採択	北海道身体障害者福祉協会代表監事	白 幡 浩
7 議長団退任		
8 次期開催地・挨拶	帯広身体障害者福祉協会会長	田 中 利 和
9 万歳三唱	北海道身体障害者福祉協会監事	西 田 悦 郎
10 閉会のことば	副大会長（北海道身体障害者福祉協会副会長）	大 橋 俊 彦

## 閉会

1 2 : 4 5

# 大会役員

名誉大会長	弟子屈町長	徳永 哲雄
名誉副大会長	弟子屈町議会議長	近江屋 茂
名誉副大会長	社会福祉法人弟子屈町社会福祉協議会会長	大友 泰雄
大会長	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会会長	藤田 孝太郎
副大会長	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会副会長	田中 利和
副大会長	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会副会長	大橋 俊彦
副大会長	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事 釧路地区身体障害者福祉協会会長	石田 正義
大会参与	弟子屈町副町長	吉備津 民夫
〃	弟子屈町議会議長	高橋 正秀
〃	弟子屈町教育委員会教育長	岩原 勝行
〃	弟子屈町民生委員児童委員協議会会長	横田 憲治
〃	弟子屈町自治会連合会会長	野田口 昌明
運営委員	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	東海林 繁幸
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	今 順子
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	木村 正裕
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	阿部 喜美夫
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	齊藤 徹
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	須佐 理恵子
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会代表監事	白幡 浩
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会監事	西田 悦朗

# 後援団体

北海道

社会福祉法人北海道社会福祉協議会

社会福祉法人北海道共同募金会

公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

日本赤十字社北海道支部

弟子屈町教育委員会

公益財団法人北海道新聞社会福祉振興基金

## 令和6年度北海道善行賞受賞者名簿

【自立活動者】2名（敬称略）

市町村名	氏名
函館市	かしわ ふみ こ 柏 文 子
小樽市	わた なべ あや こ 渡 邊 綾 子

【自立支援功労者】3名（敬称略）

市町村名	氏名
白糠町	いし だ まさ よし 石 田 正 義
音更町	つか もと あき お 塚 本 明 雄
函館市	ふるばやし けい こ 古 林 恵 子

## 令和6年度日本身体障害者団体連合会 会長表彰受賞者名簿

市町村名	氏名
中頓別町	しょうじ しげ ゆき 東海林 繁 幸
登別市	こん じゅん こ 今 順 子

# 令和6年度北海道身体障害者 福祉協会会長表彰受賞者名簿

【自立更生者表彰】8名（敬称略）

市町村名	氏名
せたな町	柳井 剛 や ない たけし
新冠町	青木 宣子 あお き のぶ こ
新冠町	百海 秀一 ひゃくかい ひで かず
標津町	小山内 佐一 おさない さ いち
羅臼町	川上 昭一 かわ かみしょう いち
函館市	小林 貞子 こ ばやし てい こ
小樽市	井上 恵子 いの うえ けい こ
苫小牧市	江尾 郁子 え お いく こ

【援護功労者表彰】 20名（敬称略）

市町村名	氏 名
乙 部 町	あ べ き み お 阿 部 喜美夫
せたな町	もと じま けい じ 元 島 敬 二
黒松内町	たま おき ちから 玉 置 力
中富良野町	なか の ちゅうきち 中 野 忠 吉
下 川 町	ふじ い せい こう 藤 井 成 幸
増 毛 町	いつかいち ちゅうじ 五日市 忠 二
湧 別 町	ほら ぐち ただ お 洞 口 忠 雄
大 樹 町	さい とう とおる 齊 藤 徹
士 幌 町	ふじ うち のぼる 藤 内 昇
豊 頃 町	たか はし やす お 高 橋 安 夫
豊 頃 町	まえ だ こ 前 田 マリ子
音 更 町	ふる た いさお 古 田 勲
標 茶 町	しぶ や むつ お 澁 谷 六 男
函 館 市	ふじ た いく こ 藤 田 郁 子



市町村名	氏 名
函 館 市	やま じ のり こ 山 路 詞 子
帯 広 市	た なか とし かず 田 中 利 和
美 唄 市	きた むら せつ こ 北 村 節 子
紋 別 市	ふじ た こうたろう 藤 田 孝太郎
伊 達 市	き むら まさ ひろ 木 村 正 裕
北 斗 市	さ く ま しょういち 佐久間 昭 一

【特別功労者表彰】 1名（敬称略）

市町村名	氏 名
岩 見 沢 市	さわ ぐち たか ゆき 澤 口 隆 之

## 講 演

◆演題 「障害と就労」 実際働いてみて思う事

◆講師 医療法人社団 田中医院  
デイケアセンターさくら  
リハビリテーション部  
理学療法士 村上 奈緒 氏



### 略 歴

平成 19 年北海道千歳リハビリテーション学院理学療法科卒業

平成 19 年社会福祉法人根室恵徳会介護老人保健施設セラピーこざくら入社

平成 21 年 7 月転落事故にて脊髄損傷に 退職

平成 21 年 12 月トキワ医院入社

平成 25 年退職し育児期間へ

令和元年医療法人社団田中医院デイケアセンターさくら入社

### メ モ

---

---

---

---

---

# 第71回紋別大会要望事項処理報告

- 1 道内全ての聴覚障害者が「要約筆記」（日本語文字通訳）を利用できる体制構築について

（一般社団法人函館市身体障害者福祉団体連合会）

## 【現状と課題】

手話通訳がわからない聴覚障害者にとって、文字で情報支援する通訳である「要約筆記」は重要な意思疎通支援手段です。

そのため、要約筆記は、「障害者総合支援法」で、市町村が実施する地域生活支援事業（意思疎通支援事業）に定められていますが、北海道は令和3年度時点で32.4%の実施率であり、全国平均の77%に遙かに及んでいません。

多くの市町村に居住の聴覚障害者が外出先等での意思疎通に困難を抱えている状況です。

## 【要望事項】

- 1 市町村が単独で意思疎通支援事業を実施できないケースが多々あるため、当面、北海道が代わりに通訳者を派遣できる体制を整備してください。
- 2 北海道は広大で、都市間の移動にも時間がかかるため、通訳者養成の講座は、札幌のみでの実施ではなく、道内主要都市で開催できるよう体制を構築し、受講者に負担がかからないようにしてください。通訳者が一部地域に偏在しないことにもつながります。
- 3 「聴覚障害者には手話通訳」というイメージがありますが、途中で聞こえなくなった方や加齢により聴力低下した方など、手話通訳が理解できない方は多くおります。また、「要約筆記」という日本語文字通訳があることを知らない方は、障害者・健常者にかかわらず多くおられると思います。利用したいという方、要約筆記の担い手、双方の増加に繋がるよう、道民へのわかりやすく、より伝わる周知啓発を実施してください。

## （回答：北海道）

障がいのある方が意思疎通を円滑に行うためには、点字や要約筆記などの障がいの特性に応じた多様な手段と、周囲の方々による適切な配慮や支援する方の存在が不可欠であり、道では、そうした環境の整備に向け、意思疎通支援者の養成などに取り組んできたところで

す。また、市町村の実施する意思疎通支援事業については、原則、市町村の必須事業として実施するものであり、都道府県は、市町村での対応が困難な専門性や緊急性の高い場合等に派遣を行うものとされていることから、道としては、市町村に対して意思疎通手段の確保を働きかけるほか、必要な助言等を行っているところです。

要約筆記者の派遣体制の整備が進まない要因として、担い手の不足や地域偏在などの課題が考えられることから、令和4年度から、札幌とそれ以外の地域で養成講座の開催を行うなどして、順次、要約筆記者の養成に努めているほか、道民に対してパンフレットやSNSなどを通じて、要約筆記の周知を行っているところであり、引き続き、こうした取組により、要約筆記を利用するための体制整備に努めてまいります。

# 第7 1 回紋別大会要望事項処理報告

## 2 医療的ケア児支援センターを複数個所設置してもらいたい

(一般社団法人函館市身体障害者福祉団体連合会)

令和3年に施行された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」第14条の規定により、医療的ケア児及びその家族等に対する専門的相談への対応、情報提供等の支援業務等（「医療的ケア児支援センター」）を都道府県知事が指定した者へ行わせることができるようになりました。

北海道では、令和4年6月に「北海道医療的ケア児等支援センター」が設置されましたが、広域の北海道では、複数個所の設置が必要となります。

北海道において、今後の医療的ケア児支援センターの設置に関して、どのような施策があるか教えていただきたいと思います。

是非、道内に複数の医療的ケア児支援センターが設置されるよう要望します。

(回答：北海道)

令和4年6月に医療法人稲生会に運営を委託し設置した北海道医療的ケア児等支援センターでは、医療的ケア児とそのご家族からの医療、保健、福祉、教育、労働など多岐にわたる相談に応じ、適切な支援に繋げるほか、市町村の窓口だけでは難しい事例に対応するなど、中核的役割を担っております。

また、北海道は広域であることから、医療的ケア児等コーディネーターが、地域での各種サービス・支援の総合的な調整や道医療的ケア児等支援センターと連携するなど、地域における支援体制の強化を図っております。

道としましては、医療的ケア児等コーディネーターの養成及びフォローアップ研修を引き続き実施し、コーディネーター未配置市町村への配置を進めるなど、医療的ケア児やそのご家族に寄り添いながら、切れ目ない支援体制の充実に取り組んでまいります。

# 第7 1 回紋別大会要望事項処理報告

## 3 有料道路における障害者割引制度の拡大について

(一般社団法人北海道身体障害者福祉協会)

有料道路における障害者割引制度については、見直しが行われ、令和5年3月27日からこれまで事前登録された自動車に限り、この割引が適用されていましたが、自家用車を保有していない人が知人の車やレンタカーを利用する場合や、介護が必要な重度の障害者がタクシーを利用する場合など、事前登録がない自動車でも新たに割引が適用されることとなりました。

ただし、現行の割引制度は、乗車定員10人以下の自動車等が対象であり、乗車定員の多いバスなどは対象となっていません。身体障害者福祉協会等では、身体障害者福祉大会をはじめ、障害者スポーツ大会など障害者福祉協会会員が貸し切りバス等で移動する場合も多く、このような場合も有料道路の障害者割引が適用されるよう見直しを要望します。

(回答：北海道)

有料道路の障害者割引制度については、見直しが行われたところですが、車両制限の撤廃についても関係機関へ働きかけるよう、国に対し、要望してまいります。

## 第72回全道身体障害者福祉大会提出議題（要望事項）

### 1 バリアフリートイレの設置拡大について

（釧路地区身体障害者福祉協会）

#### 【現状と課題】

北海道には、海外や道外から多くの観光客が訪れ、観光地は大いににぎわっています。

また、障がい者の社会参加が進み、車椅子を使用する障がい者等も観光に出かけるようになりました。

公共施設やホテル、病院、高速道路のパーキングエリア等では、バリアフリートイレの設置が増えているように感じられますが、身体障害者福祉協会等では、身体障害者福祉大会をはじめ、障害者スポーツ大会など障害者福祉協会会員がバス等で移動する場合も多く、このような場合に車いす等の障害者がまとまってトイレを利用したいと思っても、バリアフリートイレが少なく、トイレを長時間待たなければならない状況が生じています。

#### 【要望事項】

多くの施設でトイレのバリアフリー化がさらに進みますとともに、1施設当たりのバリアフリートイレの設置数が増加されますよう補助金等の財政支援の創設や関係機関・団体等への働きかけについて要望します。

## 第72回全道身体障害者福祉大会提出議題（要望事項）

### 2 車いすによる踏切事故の防止について

（釧路地区身体障害者福祉協会）

#### 【現状と課題】

近年、電動車いす等に乗車中、踏切内で前輪が線路の溝部分に入り込んで操縦できなくなったり、車輪が脱輪して立ち往生したりして、踏切内で列車にはねられ死亡するといった痛ましい事故が発生しています。

今後、障害を持つ高齢ドライバーが運転免許証返納後、電動車いすを利用する場合が増加すると考えられ、それに伴い事故の増加なども心配されます。

#### 【要望事項】

踏切の管理者や電動車いすの製造会社などが連携して、痛ましい事故が二度と起きないように各関係機関に対策を進めていただくことを要望します。

## 第72回全道身体障害者福祉大会提出議題（要望事項）

### 3 聴覚障害者への合理的配慮提供を示す方法としての「耳マーク」掲示について

（一般社団法人函館市身体障害者福祉団体連合会）

#### 【現状と課題】

「聞こえない・聞こえにくい」と、日常生活の上で人知れず苦勞をします。

聴覚障害者は、障害そのものが外見から分かりにくいために誤解をされたり、不利益を受けたり、危険にさらされることがあるなど、社会生活の上での不安は数多くあります。

また、難聴の程度や種類により、聞こえない・聞こえにくい状況は千差万別であり、自分の聞こえの障害を受容しきれていない方は、その場でうまく説明できず、必要な配慮を依頼できずに、会話の理解や応答があいまいなまま、不本意ながらもやり過ごしてしまうことが多々あります。

#### 【要望事項】

「聞こえない・聞こえにくい方への配慮提供を示す「耳マーク」の掲示、使用について」

障害者差別解消法の施行により、障害当事者が申し出ることによって必要な配慮がなされる場面が増えてきましたが、障害を受け止めきれていない聴覚障害当事者は、自分から申し出ること躊躇するケースも多くあります。

この解消方法の1つとして、行政窓口等に「耳マーク」の掲示で、配慮の提供があることを示すことで、障害当事者側から配慮の申し出がしやすくなるものと考えます。

合理的配慮の一環として、北海道自治体、関連機関・施設の窓口で「耳マーク」を掲示いただきたく、要望します。

#### 【参考】

「耳マーク」は、（一社）全日本難聴者・中途失聴者団体連合会が管理しております。内閣府のサイトでも「障害者に関するマーク」として、紹介されています。

<https://www8.cao.go.jp/shougai/mark/mark.html>



## 第72回全道身体障害者福祉大会提出議題（要望事項）

### 4 障がい者雇用の推進について

（一般社団法人北見身体障害者福祉協会）

#### 【現状と課題】

現在、障がい者団体等や就労支援事業所では、公共部門や一般企業からの委託事業により事業の運営資金とし、その結果、障がいのある方々の雇用につながっています。

しかし、現在は委託事業の減少や委託料の減少により厳しい状況となっています。

今後、障がいのある方々の就労率向上のため、委託事業（委託金額）の発注量増加が求められています。

#### 【要望事項】

- 1 障がい者雇用率制度において、発注額に応じて障がいのある人を雇用したとみなし、障がい雇用率にカウントする。
- 2 発注額に応じ、納付税額を減額する。

# 大会宣言（案）

全道から参加した多くの仲間とともに、ここに第72回全道身体障害者福祉大会弟子屈大会を盛大に開催することができました。

北海道身体障害者福祉協会は、障害者権利条約を踏まえ、障害当事者参加のもと、障害者施策の促進と障害特性に配慮した社会環境の整備が図られるよう、加盟団体と強く連携し、全力で活動してまいりました。

また、障害者が孤独、孤立に陥らないためにも障害及び障害者に対する国民的理解を地域に根づかせるべく、私たちが主体となって取り組んでいかなければなりません。

そして、障害のある私たち一人ひとりが発信者となり、社会生活において、困っていること、改善解消を必要とすることを伝え、相互理解を深めていかなければなりません。

さらに、国連障害者権利委員会の総括所見に対する国の今後の対応について注視していくとともに、その実現に向け障害者関係団体と連携して取り組んでまいります。

北海道身体障害者福祉協会に結集する私たちは、障害によって分け隔てられることなく、誰もが安心安全に暮らせる地域共生社会の実現を目指して、一致団結し、行動することを誓い、ここに宣言します。

令和6年9月24日

第72回全道身体障害者福祉大会弟子屈大会

# 大会決議（案）

- 1 障がいの社会モデルの理解啓発を道内全域で進めよう
- 2 北海道に根ざした心のバリアフリーを広げよう
- 3 災害時における被災者支援の充実を図ろう
- 4 北身協と加盟団体連携のもと、組織体制の強化と活性化を図ろう
- 5 地域の相談支援体制の中で身体障害者相談員の活動強化を図ろう

令和6年9月24日

第72回全道身体障害者福祉大会弟子屈大会

## 第72回全道身体障害者福祉大会 弟子屈大会実行委員名簿

実行委員長	釧路地区身体障害者福祉協会会長	石 田 正 義
副実行委員長	弟子屈町福祉課長	戸 崎 泰 宏
〃	社会福祉法人弟子屈町社会福祉協議会事務局長	佐 藤 康 弘
〃	釧路地区身体障害者福祉協会弟子屈町分会長	田 中 勇 男
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会事務局長	佐 藤 裕 人
実行委員	釧路地区身体障害者福祉協会釧路町分会長	矢 代 雅 寛
〃	釧路地区身体障害者福祉協会厚岸町分会長	安 達 由 圃
〃	釧路地区身体障害者福祉協会浜中町分会長	石 原 利 彌
〃	釧路地区身体障害者福祉協会標茶町分会長	東海林 幸 子
〃	釧路地区身体障害者福祉協会鶴居村分会長	松 井 啓 市
〃	釧路地区身体障害者福祉協会事務局長	藤 井 麻 希
監 事	釧路地区身体障害者福祉協会白糠町分会	濱 野 則 子
〃	釧路地区身体障害者福祉協会浜中町分会	猿 渡 美 子

## 第72回弟子屈大会参加団体一覧

中頓別町身体障害者福祉協会

羅臼町身体障がい者福祉協会

枝幸町身体障害者福祉協会

一般社団法人函館市身体障害者福祉団体連合会

網走地区身体障害者福祉協会大空分会

一般社団法人小樽身体障害者福祉協会

北海道身体障害者福祉協会佐呂間分会

一般社団法人釧路身体障害者福祉協会

網走地区身体障害者福祉協会湧別分会

一般社団法人帯広身体障害者福祉協会

十勝地区身体障害者福祉協会大樹町分会

一般社団法人北見身体障害者福祉協会

北海道身体障害者福祉協会音更分会

網走市身体障害者福祉協会

十勝地区身体障がい者福祉協会芽室町分会

苫小牧身体障害者福祉協会

釧路地区身体障害者福祉協会釧路町分会

美唄身体障害者福祉協会

釧路地区身体障害者福祉協会厚岸分会

芦別市身体障害者福祉協会

釧路地区身体障害者福祉協会浜中町分会

江別身体障害者福祉協会

釧路地区身体障害者福祉協会弟子屈町分会

紋別市身体障害者福祉協会

釧路地区身体障害者福祉協会標茶分会

士別市身体障害者福祉協会

釧路地区身体障害者福祉協会白糠分会

砂川身体障害者福祉協会

釧路地区身体障害者福祉協会

登別身体障害者福祉協会

別海町身体障がい者福祉協会

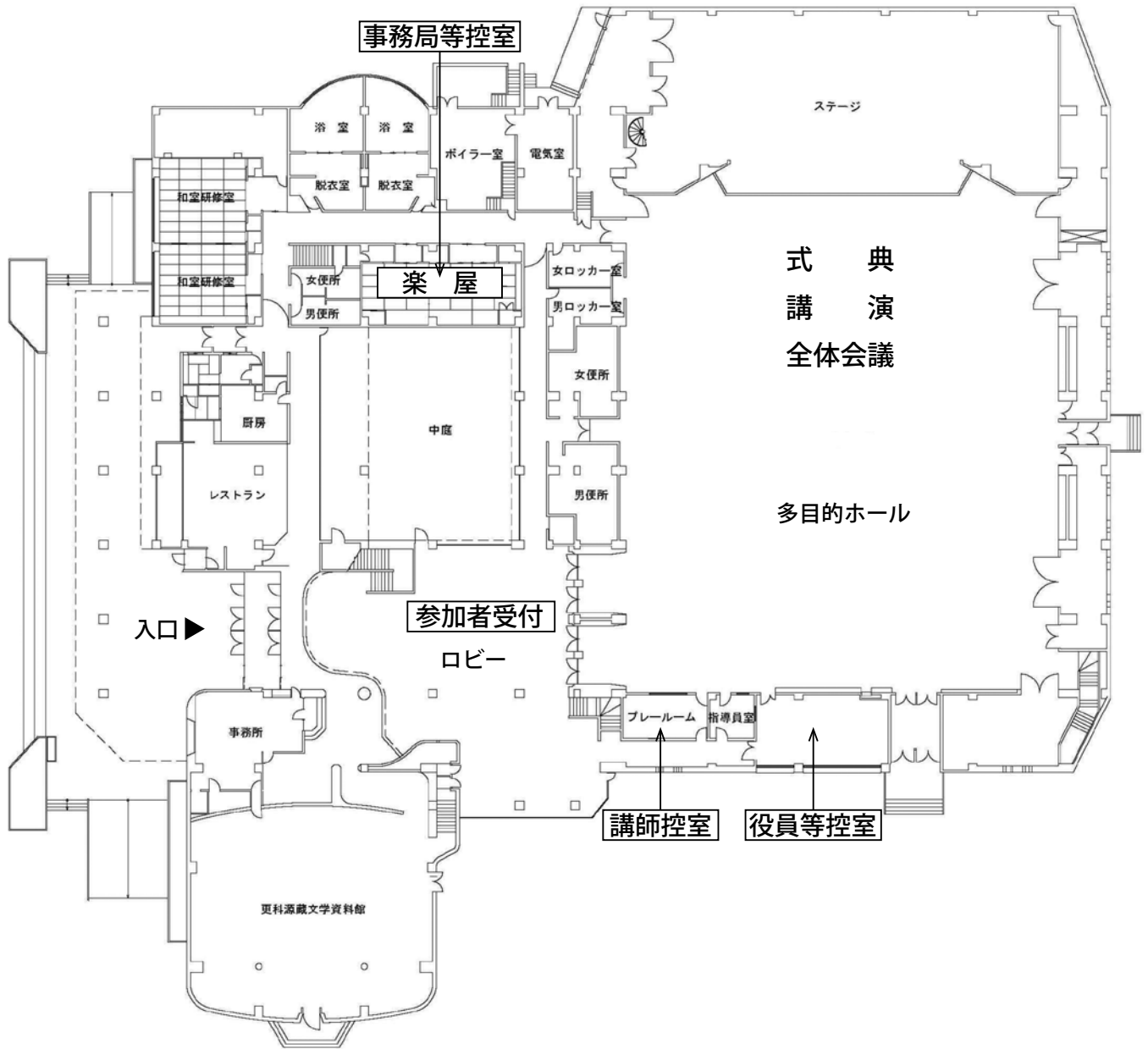
伊達身体障がい者福祉協会

標津町身体障がい者福祉協会

# 全道身体障害者福祉大会 年次開催地一覧表

第 回	開催年月	開催地	第 回	開催年月	開催地
1	1952年6月	札幌市	37	1988年7月	函館市
2	1953年6月	小樽市	38	1989年7月	釧路市
3	1954年7月	釧路市	39	1990年7月	砂川市
4	1955年12月	函館市	40	1991年7月	滝川市
5	1956年6月	札幌市	41	1992年7月	紋別市
6	1957年6月	旭川市	42	1993年7月	室蘭市
7	1958年6月	小樽市	43	1994年7月	留辺蘂町
8	1959年7月	室蘭市	44	1995年7月	稚内市
9	1960年8月	美唄市	45	1996年7月	江別市
10	1961年8月	帯広市	46	1997年9月	小樽市
11	1962年8月	士別市	47	1998年8月	芦別市
12	1963年8月	苫小牧市	48	1999年10月	北見市
13	1964年8月	千歳市	49	2000年10月	名寄市
14	1965年8月	岩見沢市	50	2001年10月	旭川市
15	1966年7月	函館市	51	2002年10月	釧路市
16	1967年8月	赤平市	52	2003年10月	函館市
17	1968年7月	室蘭市	53	2004年10月	伊達市
18	1969年7月	旭川市	54	2005年10月	美唄市
19	1970年8月	札幌市	55	2006年10月	登別市
20	1971年7月	小樽市	56	2007年10月	弟子屈町
21	1972年8月	帯広市	57	2008年10月	北斗市
22	1973年7月	釧路市	58	2009年10月	夕張市
23	1974年8月	北見市	59	2010年10月	帯広市
24	1975年7月	苫小牧市	60	2011年9月	千歳市
25	1976年7月	美唄市	61	2012年9月	釧路市
26	1977年7月	函館市	62	2013年5月	札幌市
27	1978年7月	虻田町	63	2014年7月	函館市
28	1979年7月	留辺蘂町	64	2015年9月	恵庭市
29	1980年7月	恵庭市	65	2016年9月	小樽市
30	1981年6月	砂川市	66	2017年10月	石狩市
31	1982年6月	室蘭市	67	2018年9月	札幌市
32	1983年7月	旭川市	68	2019年10月	登別市
33	1984年6月	小樽市	69	2020年9月	深川市
34	1985年7月	岩見沢市	70	2021年10月	帯広市
35	1986年7月	帯広市	71	2023年9月	紋別市
36	1987年6月	千歳市			

# 釧路圏摩周観光文化センター 1 階平面図



## 釧路圏摩周観光文化センター 2階平面図

